

デイケアセンターにて通所リハビリテーションを受け、身体活動量の測定をされた方へ

**「通所リハビリテーション利用者の活動強度に着目した身体活動量の調査」研究について
(お願い)**

高齢者の活発な身体活動は様々な疾病予防や運動機能維持に効果的であり、高齢者における身体活動の促進は世界的な課題であるとされています。通所リハビリテーションを利用されている方は運動機能の低下から屋外での活動や在宅生活に制限を有する 경우가多く、健常高齢者と比較すると身体活動量が低下する傾向にあります。

身体活動の活動強度は代謝当量(Metabolic equivalents : METs)という単位で段階付けされています。運動機能を維持するためには3METs以上(中・高強度)の身体活動が推奨されていますが、3METs未満の低い強度の身体活動にも疾病予防効果のあることが報告されています。これらMETsを基にした活動強度に関する研究は健常高齢者を対象としたものが多く、通所リハビリテーション利用者を対象としたものはほとんど報告されていません。

そこで、通所リハビリテーション利用者を対象に活動強度別の身体活動量を調査し、運動機能との関連を明らかにする目的の研究を予定しています。この研究を実施することによる対象者の方への新たな負担は一切ありません。是非ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、金沢大学医薬保健研究域長の承認を得て行われます。

1. 研究の対象

2018年11月15日～2026年3月31日に金沢赤十字病院リハビリテーション科付属のデイケアセンターで活動量計による身体活動量の測定を行った方。

2. 研究の概要

研究課題名 通所リハビリテーション利用者の活動強度に着目した身体活動量の調査
研究期間 承認日～2028年3月31日
目標数 120例

3. 研究の目的について

この研究では、活動量計より算出した活動強度別の身体活動量と運動・心理機能および生活活動度との関連を検討することを目的としています。

4. 研究の方法について

この研究では、他の研究で収集された既存のデータを利用します。データの出典元となる研究は、「通所リハビリテーション利用者の活動強度に着目した身体活動量の実態調査(金沢大学医学倫理審査委員会 承認番号 884、111067)」です。対象者の方に特に新たに費用をご負担いただくことはありません。

5. 研究に用いる情報の種類

これまでの調査で得られた以下の情報：

身体活動量、認知・心理機能、生活活動度、運動機能、基本情報：年齢・性別・身長・体重・
要介護度・主診断名、現住所

6. 予想される利益と不利益について

この研究に参加しても対象者の方に直接の利益、予想される不利益はありません。

7. プライバシーの保護について

この研究で使用するデータは個人を識別される情報を削除し、個人が特定できないようにされています。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、その場合にも個人の情報などが公表されることは一切ありません。

8. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、対象者の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の問い合わせ先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。本研究の研究実施期間は 2028 年 3 月 31 日までと予定しています。なお、研究への不参加のご連絡をいただきましたときまでに発表された内容については対応できないため、その旨ご了承くださいますようお願いいたします。

9. 研究組織

研究代表者：横川正美

所属 金沢大学医薬保健研究域保健学系 教授

研究分担者：内山圭太（研究協力員）

所属 金沢赤十字病院リハビリテーション科

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、研究計画書などの資料を閲覧することができますのでお申出ください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域保健学系リハビリテーション科学領域

研究責任者・問い合わせ窓口：横川正美（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

住所：金沢市小立野 5 丁目 11-80

電話：076-265-2618